

第 1 回気仙沼市岩井崎プロムナードセンター整備検討会議に出席しました(2016/7/6)

テーマ：震災遺構，防災教育
場所：気仙沼市役所（気仙沼市）

7月5日（火）に，気仙沼市役所にて，第1回気仙沼市岩井崎プロムナード整備検討会議が開催され，当研究所の川島秀一教授（人間・社会対応研究部門）と佐藤翔輔助教（情報管理・社会連携部門）が出席しました。気仙沼市では，東日本大震災復興交付金を活用して，旧気仙沼向洋高校を震災遺構として保存・活用することを決定しました（2015年5月）。気仙沼市では，防災・減災教育および展示等を展開する施設として，「岩井崎プロムナードセンター」を隣接地に復旧することになっています。同センターは，もともと体験型の学習施設として，岩井崎とその周辺の自然や歴史・産業・文化などがわかる展示学習フロアが設置されていました。しかしながら，東日本大震災の津波で全壊しました。この度，震災遺構となる旧気仙沼向洋高校に同センターが隣接して復旧されることにともない，センターの位置や整備内容について検討する会議として，気仙沼市岩井崎プロムナード整備検討会議が開催されました。同会議の委員は，有識者及び関係者から専門的な見地からの検討を行います。当研究所からは，災害伝承や防災教育の点から，川島秀一教授と佐藤翔輔助教が委嘱されました。

第1回となる今回は，検討会議の位置付けの確認，センターの位置付けや設置位置に関する活発な議論がなされました。会議では，川島秀一教授が委員長に任命され，会議を進行する議長をつとめました。



検討会議の様子



議長をつとめた川島秀一教授

文責：川島秀一（人間・社会対応研究部門），佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）